

平成29年3月期 決算説明会

 OKUMURA CORPORATION

平成29年5月15日開催

決算説明会の内容

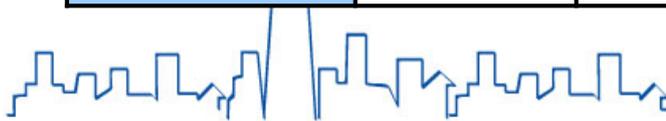
- 1 挨拶
代表取締役社長 奥村 太加典
- 2 決算及び業績予想の概要説明
取締役常務執行役員
管理本部長 田中 敦史
- 3 決算及び業績予想の詳細説明
管理本部経理部長 古澤 浩司



連結決算の概要

(単位：百万円)

	28/3期	29/3期		
	実績	予想 (11月公表値)	実績	対前期 増減率
売上高	205,291	206,500	203,090	▲1.1%
営業利益	8,423	10,500	11,678	38.6%
経常利益	9,272	11,300	13,455	45.1%
当期純利益	8,625	10,000	13,614	57.8%



OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益ともに、連結決算を公表した平成18年3月期以降での最高益を更新

個別決算においても、営業利益110億円、経常利益131億円、当期純利益133億円を計上しており、営業利益は平成9年3月期以来20年ぶりに100億円台に到達、当期純利益は税負担の相違もあり単純に比較できないものの、過去最高益を計上

(主な増益要因)

- ・ 売上総利益率の好転にともなう売上総利益の増加
- ・ 営業外収支の改善
- ・ 繰延税金資産の計上



OKUMURA CORPORATION

＜参考＞ 受注高（個別）

（単位：百万円）

	28/3期	29/3期		
	実績	予想 (2月公表値)	実績	対前期 増減率
土 木	96,370	110,000	119,796	24.3%
官公庁	73,461	92,000	97,616	32.9%
(うち海外)	(335)		(4,406)	(-)
民 間	22,909	18,000	22,179	▲3.2%
(うち海外)	(55)		(40)	(▲27.3%)
建 築	126,263	125,000	123,086	▲2.5%
官公庁	41,167	20,000	15,662	▲62.0%
(うち海外)	(-)		(-)	(-)
民 間	85,096	105,000	107,423	26.2%
(うち海外)	(2)		(▲47)	(-)
合 計	222,634	235,000	242,882	9.1%
(うち海外)	(392)		(4,398)	(-)

《主なポイント》

- ・ 大型工事の受注により、全体では対前期比で増加
- ・ 好調な受注を背景に、繰越工事高は、売上高を大きく上回る水準で推移

（参考：繰越工事高の推移）

	27/3期	28/3期	29/3期
土 木	1,049億円	1,211億円	1,641億円
建 築	1,197億円	1,310億円	1,376億円
合 計	2,247億円	2,521億円	3,018億円

連結業績予想の概要

(単位：百万円)

	29/3期	30/3期	
	実績	予想	対前期 増減率
売上高	203,090	224,700	10.6%
営業利益	11,678	10,400	▲10.9%
経常利益	13,455	11,400	▲15.3%
当期純利益	13,614	10,300	▲24.3%



《主なポイント》

- ・売上高は増加を見込んでいるものの、今後の建設コスト上昇などの懸念材料を勘案し、営業利益、経常利益、当期純利益は減少を見込んでいる

(その他の減益要因)

経常利益：貸倒引当金戻入額を見込んでいない

当期純利益：繰延税金資産の変動を見込んでいない



＜参考＞ 受注高予想（個別）

（単位：百万円）

	29/3期	30/3期	
	実績	予想	対前期 増減率
土木	119,796	85,000	▲29.0%
官公庁	97,616	63,000	▲35.5%
民間	22,179	22,000	▲0.8%
建築	123,086	125,000	1.6%
官公庁	15,662	30,000	91.5%
民間	107,423	95,000	▲11.6%
合計	242,882	210,000	▲13.5%


 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 繰越工事高が増加している状況を受け、技術職員の配置や協力会社の確保など、当面の施工体制を勘案し、合計2,100億円の受注高を見込む


 OKUMURA CORPORATION

連結決算の詳細

◇連結貸借対照表

(単位：百万円)

	28/3期	29/3期	増減		28/3期	29/3期	増減
	実績	実績			実績	実績	
流動資産	156,243	177,678	21,434	流動負債	104,840	122,210	17,370
現金預金	15,353	43,621	28,267	支払手形・ 工事未払金等	54,033	58,230	4,197
受取手形・ 完成工事未収入金等	113,190	97,275	▲15,915	短期借入金	15,778	13,089	▲2,689
有価証券	10,500	14,000	3,500	未成工事受入金	6,718	14,900	8,181
固定資産	110,437	111,796	1,358	工事損失引当金	4,449	3,367	▲1,082
有形固定資産	41,213	42,651	1,438	固定負債	18,561	14,305	▲4,256
無形固定資産	263	262	▲0	長期借入金	5,168	1,156	▲4,012
投資その他の資産	68,960	68,882	▲78	負債合計	123,401	136,515	13,114
資産合計	266,680	289,474	22,793	純資産	143,278	152,958	9,679
				利益剰余金	80,245	89,675	9,430
				負債純資産合計	266,680	289,474	22,793



OKUMURA CORPORATION

《主な増減理由》

『現金預金』『受取手形・完成工事未収入金等』

- ・大型工事の竣工が多く、前期までの立替工事費の回収が進んだことによる

『有形固定資産』

- ・賃貸用不動産（東京都千代田区）・社員寮用地（名古屋市）の取得、技術研究所倉庫棟（つくば市）の新築などの設備投資

『支払手形・工事未払金等』『未成工事受入金』

- ・手持工事の増加による

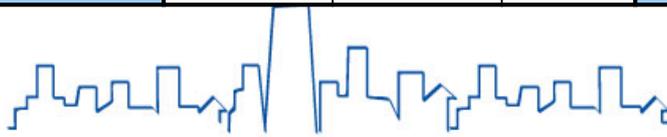


OKUMURA CORPORATION

《個別貸借対照表との比較》

(単位：百万円)

	29/3期		差額		29/3期		差額
	連結	個別			連結	個別	
流動資産	177,678	174,557	3,120	流動負債	122,210	120,189	2,021
				固定負債	14,305	14,106	198
固定資産	111,796	107,805	3,990	負債合計	136,515	134,295	2,220
				純資産	152,958	148,067	4,890
資産合計	289,474	282,363	7,111	負債純資産 合計	289,474	282,363	7,111



『連結子会社の個別の財政状況』

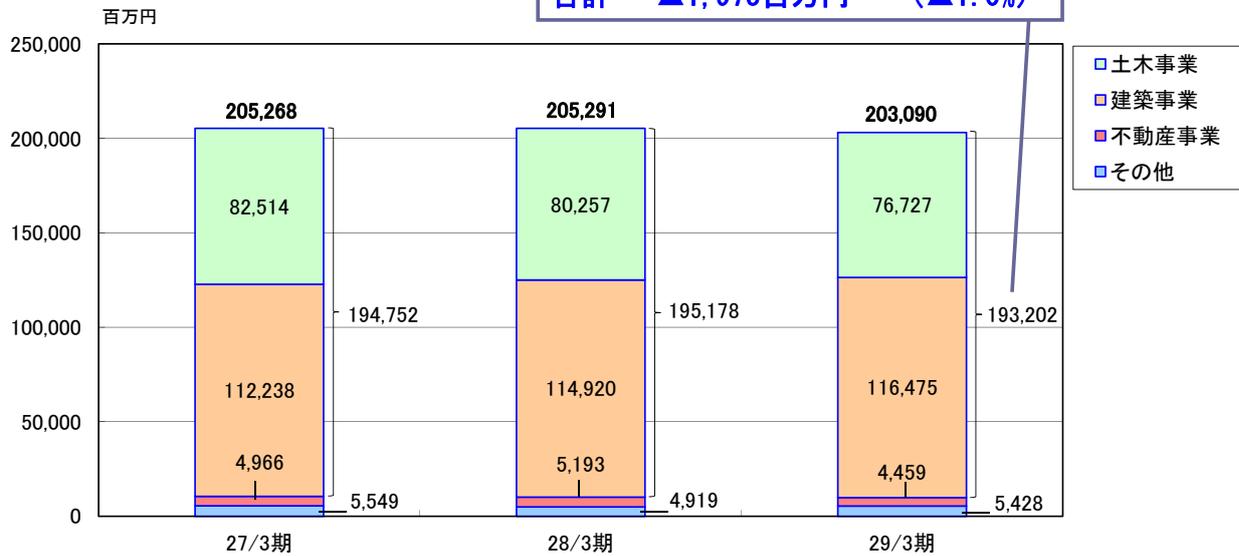
	奥村機械製作	太平不動産
・ 資産合計	4,309百万円	5,698百万円
・ 純資産	2,531百万円	634百万円



◇連結損益計算書

～売上高～

《建設事業》	
完成工事高の前期比	(増減率)
土木	▲3,529百万円 (▲4.4%)
建築	+1,554百万円 (+1.4%)
合計	▲1,975百万円 (▲1.0%)



《売上高の主なポイント》

建設事業

- ・土木は、手持工事は増加しているが、大型工事の本格的な稼働に至っておらず、売上高は前期に比べ減少

不動産事業等

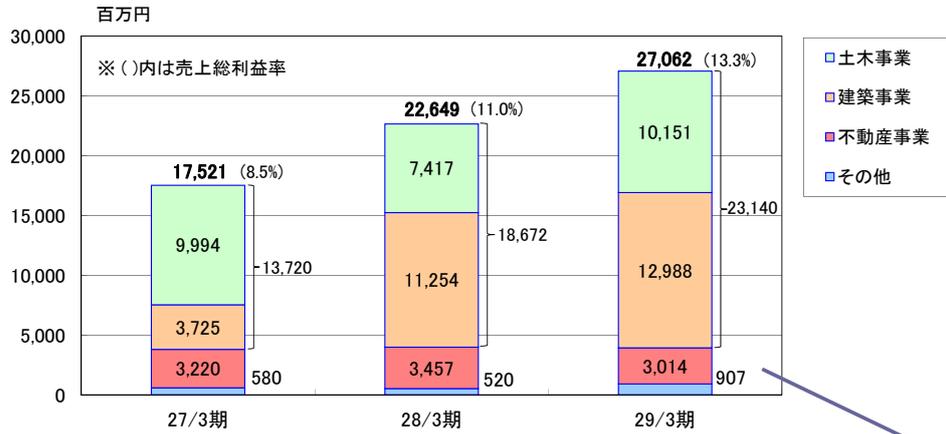
- ・売上高内訳

	28/3期	29/3期	増減
販売	1,470百万円	634百万円	▲836百万円
賃貸他	3,722百万円	3,825百万円	+102百万円
不動産計	5,193百万円	4,459百万円	▲733百万円
その他	4,919百万円	5,428百万円	+508百万円
合計	10,113百万円	9,888百万円	▲225百万円

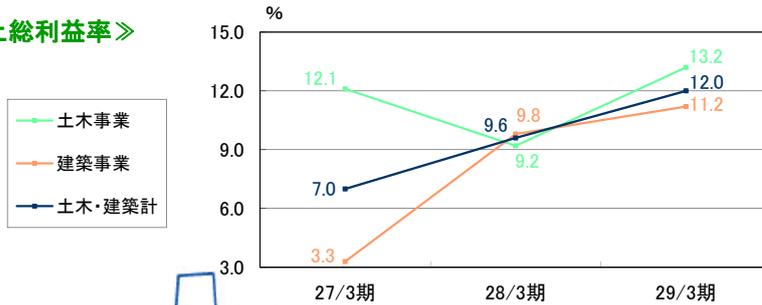


～売上総利益～

《売上総利益額》

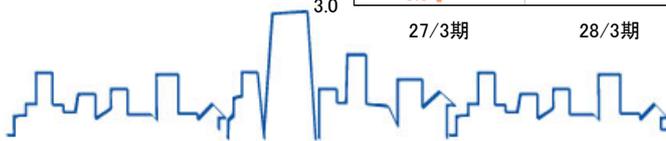


《売上総利益率》



《不動産事業等》

	28/3	29/3	増減
販売	696 (47.3%)	84 (13.4%)	▲611
賃貸他	2,760 (74.2%)	2,930 (76.6%)	+169
不動産計	3,457 (66.6%)	3,014 (67.6%)	▲442
その他	520 (10.6%)	907 (16.7%)	+387
合計	3,977 (39.3%)	3,922 (39.7%)	▲54



《売上総利益の主なポイント》

建設事業

- ・ 土木は、前期に続き高採算工事の売上高に占める割合が高く、一部の前期からの繰越工事の採算改善が寄与したこともあり、前期に比べて売上総利益が大幅に増加
- ・ 建築は、大型工事を含め、工事損益が全般的に改善したことなどにより、前期に比べて売上総利益が増加

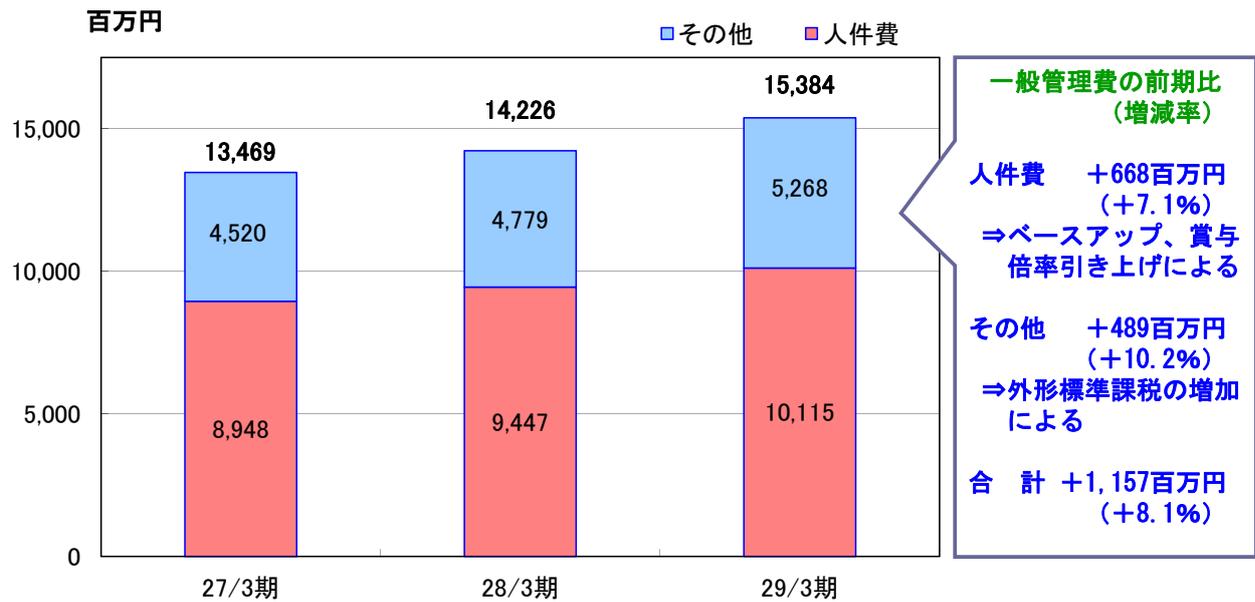
・ 工事損失引当金

土木 ⇒ 460百万円増加 (1,745百万円 ⇒ 2,206百万円)
 工事完成によるもの ▲556百万円
 引当不足によるもの +1,016百万円

建築 ⇒ 1,542百万円減少 (2,704百万円 ⇒ 1,161百万円)
 工事完成によるもの ▲1,670百万円
 引当不足によるもの +127百万円



～一般管理費～



～営業外収支～

(単位：百万円)

	28/3期	29/3期	
	実績	実績	増減
営業外収益	1,313	1,969	655
受取利息配当金	1,114	1,098	▲16
貸倒引当金戻入額	—	575	575
営業外費用	464	191	▲272
支払利息	168	155	▲13
為替差損	260	—	▲260
営業外収支	849	1,777	927
金融収支	946	942	▲3



～特別損益等～

(単位：百万円)

	28/3期	29/3期	
	実績	実績	増減
特別利益	335	168	▲166
固定資産売却益	1	131	129
投資有価証券売却益	333	36	▲296
特別損失	280	337	57
固定資産除却損	270	281	10
特別損益	55	▲169	▲224
法人税、住民税及び事業税	798	1,432	633
法人税等調整額	▲96	▲1,759	▲1,663
法人税等合計	702	▲327	▲1,030

OKUMURA CORPORATION

《法人税等の主なポイント》

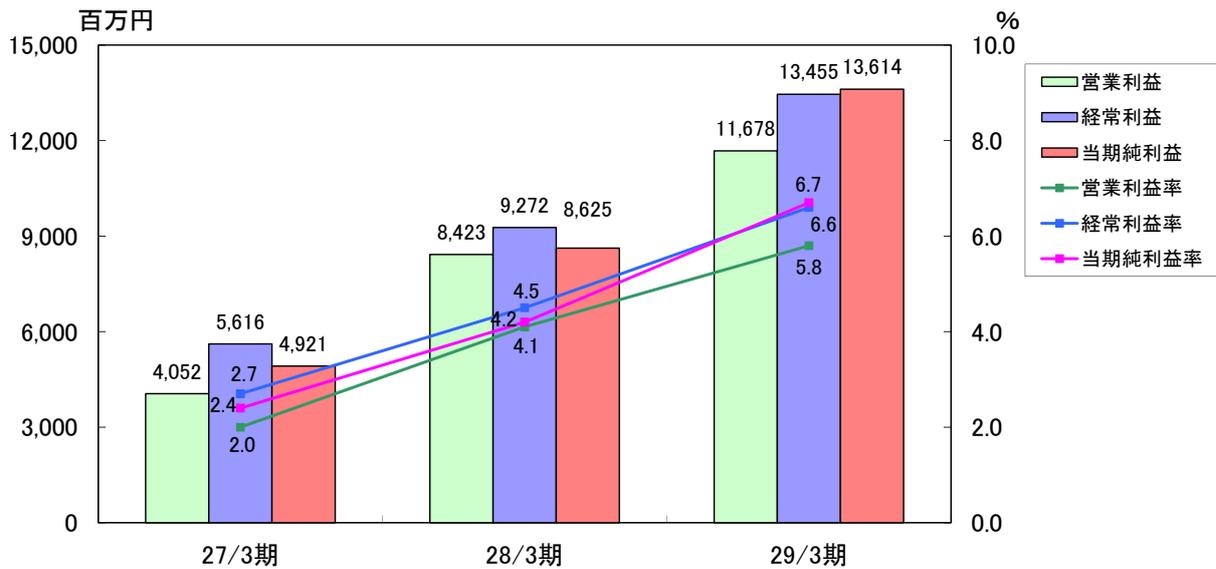
法人税等調整額

- ・近年の業績回復や今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産を18億円計上



OKUMURA CORPORATION

～営業利益、経常利益及び当期純利益～



《 ROE 》

27/3期	28/3期	29/3期
3.7%	6.1%	9.2%

《 1株当たり配当額 (個別) 》

27/3期	28/3期	29/3期
12円	21円	33円

※29/3期の配当については平成29年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です

当社の配当政策

安定配当 1株当たり9円又は業績に対応するものとして配当性向が50%に相当する額のいずれか高い方を配当することを基本方針としている

《個別損益計算書との比較》

(単位：百万円) 平成29年3月期 決算説明会

	29/3期				
	連結		個別		差額
売上高	203,090	100%	198,284	100%	4,806
建設事業	193,202		193,202		—
不動産事業等	9,888		5,081		4,806
売上総利益	27,062	13.3%	25,983	13.1%	1,078
建設事業	23,140	12.0%	23,108	12.0%	31
不動産事業等	3,922	39.7%	2,875	56.6%	1,047
一般管理費	15,384	7.5%	14,909	7.5%	474
営業利益	11,678	5.8%	11,073	5.6%	604
営業外収益	1,969	0.9%	2,278	1.1%	▲309
営業外費用	191	0.1%	194	0.1%	▲2
経常利益	13,455	6.6%	13,157	6.6%	298
特別利益	168	0.1%	168	0.1%	0
特別損失	337	0.2%	338	0.2%	▲0
税金等調整前当期純利益	13,286	6.5%	12,987	6.5%	299
法人税等	▲327	▲0.2%	▲392	▲0.2%	64
当期純利益	13,614	6.7%	13,379	6.7%	234
ROE	9.2% (28/3期 6.1%)		9.3% (28/3期 6.3%)		

OKUMURA CORPORATION

平成29年3月期 決算説明会

『連結子会社の個別の概況』

	奥村機械製作	太平不動産
・ 売上高	4,456百万円	519百万円
・ 営業利益	168百万円	291百万円
・ 経常利益	187百万円	212百万円
・ 当期純利益	156百万円	179百万円



◇連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	27/3期	28/3期	29/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,594	1,033	45,108	44,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,065	▲2,884	▲3,672	▲788
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,115	▲402	▲10,918	▲10,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	▲95	61	157
増減額	1,482	▲2,348	30,579	32,928
現金及び現金同等物の期首残高	26,245	27,727	25,379	▲2,348
現金及び現金同等物の 当期末残高	27,727	25,379	55,958	30,579



OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上や工事代金の回収等により黒字
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等により赤字
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払い等により赤字



OKUMURA CORPORATION

◇主な完成工事



《一関遊水地大林排水施設躯体工事》 岩手県一関市



 **OKUMURA CORPORATION**

◇主な完成工事



《北九州市スタジアム整備等PFI事業》 福岡県北九州市



 **OKUMURA CORPORATION**

連結業績予想の詳細

◇30/3期 連結業績予想

(単位：百万円)

	29/3期		30/3期		増減
	実績		予想		
売上高	203,090	100%	224,700	100%	21,609
土 木	76,727		82,000		5,272
建 築	116,475		133,000		16,524
建設事業計	193,202		215,000		21,797
不動産事業等	9,888		9,700		▲188
売上総利益	27,062	13.3%	26,400	11.7%	▲662
土 木	10,151	13.2%	8,600	10.5%	▲1,551
建 築	12,988	11.2%	13,900	10.5%	911
建設事業計	23,140	12.0%	22,500	10.5%	▲640
不動産事業等	3,922	39.7%	3,900	40.2%	▲22
一般管理費	15,384	7.5%	16,000	7.1%	615
営業利益	11,678	5.8%	10,400	4.6%	▲1,278

《不動産事業等の内訳》

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益
販売	30/3 460	180 (39.1%)
	29/3 634	84 (13.4%)
賃貸他	30/3 3,980	3,020 (75.9%)
	29/3 3,825	2,930 (76.6%)
不動産計	30/3 4,440	3,200 (72.1%)
	29/3 4,459	3,014 (67.6%)
その他	30/3 5,260	700 (13.3%)
	29/3 5,428	907 (16.7%)
合 計	30/3 9,700	3,900 (40.2%)
	29/3 9,888	3,922 (39.7%)

《一般管理費》

- ・ベースアップによる人件費の増加(3期連続実施)
- ・技術研究所の設備更新
- ・情報システム投資



OKUMURA CORPORATION

《30/3期 連結業績予想続き》

(単位：百万円)

	29/3期		30/3期		増減
	実績		予想		
営業外収益	1,969	0.9%	1,200	0.6%	▲769
営業外費用	191	0.1%	200	0.1%	8
経常利益	13,455	6.6%	11,400	5.1%	▲2,055
特別損益	▲169	▲0.1%	100	0.0%	269
税金等調整前 当期純利益	13,286	6.5%	11,500	5.1%	▲1,786
法人税等	▲327	▲0.2%	1,200	0.5%	1,527
当期純利益	13,614	6.7%	10,300	4.6%	▲3,314

《営業外損益》

- ・為替差損益、貸倒引当金戻入額は見込んでいない

《法人税等》

- ・繰延税金資産の変動を見込んでいない

ROE	9.2%	6%台後半
-----	------	-------

《30/3期 配当予想》

	29/3期実績	30/3期予想
1株当たり配当	33円	129円

※ 29/3期の配当については、平成29年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

30/3期の配当については、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、当該株式併合の影響を考慮した金額、129円の予想としています。(考慮しない場合は25円)



《個別業績予想との比較》

(単位：百万円)

	30/3期				
	連結		個別		差額
売上高	224,700	100%	219,900	100%	4,800
建設事業	215,000		215,000		—
不動産事業等	9,700		4,900		4,800
売上総利益	26,400	11.7%	25,500	11.6%	900
建設事業	22,500	10.5%	22,500	10.5%	—
不動産事業等	3,900	40.2%	3,000	61.2%	900
一般管理費	16,000	7.1%	15,500	7.1%	500
営業利益	10,400	4.6%	10,000	4.5%	400
営業外収益	1,200	0.6%	1,500	0.7%	▲300
営業外費用	200	0.1%	200	0.1%	—
経常利益	11,400	5.1%	11,300	5.1%	100
特別損益	100	0.0%	100	0.1%	—
税金等調整前当期純利益	11,500	5.1%	11,400	5.2%	100
法人税等	1,200	0.5%	1,100	0.5%	100
当期純利益	10,300	4.6%	10,300	4.7%	—

ROE

6%台後半

6%台後半

OKUMURA CORPORATION



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。